

サポーターズタイムズ

Supporters Times



2008年(平成20年)
8月1日(毎月1日発行) **No. 157**

秋葉けんやサポーターズ事務所
自由民主党宮城県衆議院比例区第一支部
〒981-3121 仙台市泉区上谷刈4-17-16

Tel 022(375)4477
Fax 022(375)0057

衆議院議員 **秋葉 けんや** 政策・活動レポート

購読料 年額6,000円
編集 集 (株)アクトジャパン

雇用の中身を考える

最近の政府与党に対する国民の風当たりの強さは、まず第一に、施策や政策の説明が不十分なこと、第二に、原油や食料の高騰といった生活に密着した目の前の課題に対して、有効な対策が明示できていないこと、第三に、雇用や年金問題など将来に対する不安感などが背景にあると思う。次の臨時国会では、こうした点を念頭に入れて、国民にわかりやすい対策を示していきたい。

振り返ると戦後の経済成長のプロセスにおいて、物価や公共料金は一貫して上昇してきたが、それを上回る賃金や所得の伸びがあったがゆえに、国民の不満は吸収されてきた面がある。日本独特の終身雇用制度や年功序列賃金制度がこれを支えてきたことは間違いない。しかし今や、給料の手取り額が伸びないのに物価だけが上昇し負担感だけが増しているという現実が、不満や不安の源泉になっている。

したがって、今もっとも政策立案に問われているのは、国民の所得の伸びを実現しながら、雇用を安定させていくことである。とりわけ雇用形態がますます多様化しているなかで、雇用の中身に着目した安定化対策が求められる。

総務省がまとめた昨年の就業構造基本調査によれば、パートやアルバイトなど非正規就業者の割合が35.5%と過去最高を記録し、20年前と比べて2倍に上昇している。男女別では男性19.9%、女性55.5%でそろって過去最高である。

いわゆる「失われた10年」の間に、就職氷河期(1993~2004)があり、企業がコスト削減で非正社員化を積極的に進めたことも一因である。

就業者数は、女性と団塊の世代に当たる60雇用の中身を考える歳前後の男性を中心に、02年から96万8千人増加して6597万8千人となった。このうち自営業者などを除いた雇用者数は5326万3千人で、このうち正社員など正規雇用者3432万4千人、非正規雇用者1893万9千人となっている。

とりわけ日雇い派遣はワーキングプアの温床として禁止すべきだとの機運が高まっている。わが党においては、通訳などの専門性の高い業務を除き禁止していく方針を決定した。厚労省も、派遣会社に登録し、仕事がある時だけ雇用契約を結ぶ登録型派遣について、一日単位の日雇い派遣だけではなく、30日以内の短期派遣を原則禁止する方向で検討している。

派遣元が徴収する手数料を公開し、働く側が有利な登録先を選択できるようにするとともに、企業間の競争を促すことも大切だ。同時に、やむなく日雇いで働かざるを得なくなった若者への就労支援の強化も必要だと思う。

問題の根本にあるのは非正規雇用者全体の処遇の低さであり、正社員との均衡処遇に力点を置いて、実効性のある効果的な法案を成立させたい。

総務大臣政務官
衆議院議員

秋葉賢也

新観光産業創造国家シンガポール/マカオ 現地視察レポート!

7月、自民党・民主党合同視察団のメンバーとして新観光産業創造国家であるシンガポール・マカオを訪問致しました。

シンガポールは、21世紀に向けた国家戦略に基づき、観光立国推進政策に「カジノ・エンタティメント産業」を位置づけ、カジノ合法化を達成しました。またマカオは、現在、ラスベガスを抜いてカジノ収益世界一となっています。今回の視察では、シンガポールのカジノ導入の政策意志と合意形成の過程、政策実現に寄与する外資導入選定プログラムについて研究するとともに、観光インバウンド、カジノ収益世界一であるマカオにおけるカジノ・エンタティメントリゾートを調査いたしました。

～シンガポール・レポート～

1980年代では観光客数が急激に拡大し大幅な伸び率を記録していたシンガポール。しかしながら2000年代に入ると伸び率は横ばいとなり、国際競争力の強化による国の発展を維持するための施策として、リークアンユー元首相が反対し実現化されなかったカジノ産業に関する法制度を、2006年2月「**カジノ管理法**」を成立によって実現しました。

この法律のポイントは、国内の**2地域**に異なる開発コンセプトを提示し、コンセプトに合致する**事業者をそれぞれ1つ**合法化するという点にあります。現在、①**マリナ・ベイ**にはビジネス観光客を対象とした**統合リゾート(IR)**が、また②**セントーサー島**にはファミリーを対象として複数の娯楽(エンタティメント)施設から成る**統合リゾート(IR)**の建設が進められており、日本におけるカジノ合法化を図る上で非常に参考になると感じました。



イスラワン貿易担当上級国務大臣と会見し、シンガポールの観光推進10年計画(ツーリズム2015)について、大臣よりご説明頂きました。

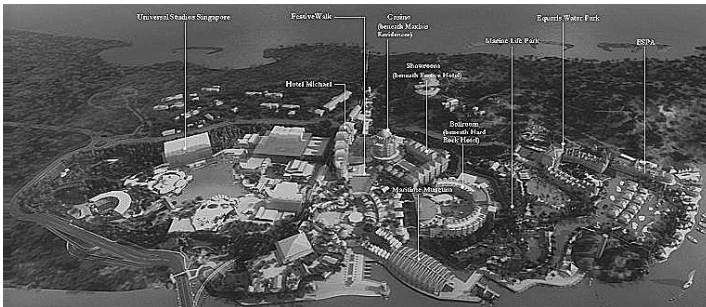
ツーリズム2015

(2005年～15年までのシンガポールの観光推進10ヵ年計画)

- ◎国際観光消費額
2004年 100億 S\$ → 2015年 300億 S\$ (3倍)
- ◎国際観光客数
2004年 800万人 → 2015年 1700万人 (2倍以上)

(主な政策内容)

- ①コンベンション誘致
- ②医療観光、教育観光の推進
- ③レジャー観光の推進(シンガポール複合リゾート(IR)&カジノ構想等)



△出所：リゾート・ワールド・セントーサー資料より



マリナ地区に予定されているのは、ビジネス向けの会議施設、展示場そしてカジノ等から成る統合リゾートで、総投資額約3700億円を投じて建設され、来年に開業する予定です。

セントーサー地区に建設が予定されているのは、ユニバーサル・スタジオ・シンガポールを中核に、ホテル、海事博物館や海洋水族館、エクアリアス・ウォーターパークそしてカジノなどから成るファミリー向けの統合リゾートで、総投資額約4000億円を投じ建設され、2010年に開業予定です。

～マカオ・レポート～

1999年英国から中国に返還されたマカオは、2002年外資開放により、ラスベガス型のカジノ・エンタメ都市マカオを実現、2007年に国際会議誘致に焦点を当てた MICE (Meeting, Incentive, Convention, Exhibition) 都市・マカオを実現しました。現在では、21世紀の東アジアのコンベンション・ハブ・シティとして成長を続けるための開発が進められています。



左) ベネチアン・マカオの国際会議場にて

右) ベネチアン・マカオ内の模型の前にて



秋葉政務官・活動レポート in July!

2011年のデジタル放送完全移行に向けて!

2011年7月24日には地上テレビのアナログ放送が終了し、完全にデジタル化されることとなります。完全デジタル化3年前にあたる27日、改めて関係者が連携・協力しデジタル放送を推進していく決意を確認し合うために、「アナログ放送終了3年前・デジタル放送完全移行推進の集い」が、総務省、(社)デジタル放送推進協会の主催で開催されました。この集いには、地上デジタル推進大使であるSMAPの草彅剛さんやテレビ局大使の女子アナの皆さんをはじめ、佐藤・谷口両総務副大臣、秋葉総務大臣政務官、及びテレビ局・通信機器メーカー等関係者の皆様等、総勢300人以上が出席され、上記決意表明や27日から放送されたCM紹介等が行われました。生活に密接に関連するテレビのデジタル化は、国民の皆さんの理解を得てはじめて実現できるものです。

円滑に行われるよう、総務省としてもしっかり取り組んで参ります。



消費者政策推進のための取組みが進められています!

消費者基本法に基づき、消費者政策の推進に関する基本的事項の企画に関する審議や消費者政策の実施を推進するために、福田総理を会長として全閣僚及び公正取引委員会委員長によって構成される「消費者政策会議」が、25日、官邸で開催され、海外出張中の増田総務大臣の代理として出席致しました。

今回の会議では、消費者基本計画の「検証・評価・監視」に関する決定が行われるとともに、「生活安心プロジェクト」の取組みについて報告が行われました。総務省では、行政相談窓口のワンストップ化、法人に対する罰金等の増額を定めた特定電子メール法の厳正な運用等を「生活安心プロジェクト」に盛り込んでおり、今後は、かかる施策の実施により、消費者本位の国民生活実現に向け取組みを進めて参ります。



定住自立国構想を推進する「地域力創造本部」～総務省に設置～

大都市の人口偏在や急速な過疎化等、社会の急激な変化に対応するために、福田首相の指示の下、有識者研究会で検討が進められてきたのが「定住自立圏構想」。この構想を推進するため、「地域力創造本部」が総務省に設置され、15日開催された第一回会合に政務官として出席致しました。

わが国の成長力強化には、地域の再生・発展が不可欠となります。

総務省では、ICT(新しい公共事業)や中心地への財政支援(交付税・地方債)、また中心市への都道府県の権限移譲等を通じ、定住自立圏構想を推進致します。



「地域力創造本部」第一回会合にて、増田大臣、岡本政務官と共に

7月3日、村井宮城県知事とともに宮城県選出の国会議員として官邸を訪問、岩手・宮城内陸地震の被災地へ激甚災害の指定を決定して頂けるよう町村官房長官に強く要望致しました。結果、翌4日の閣議で、岩手・宮城内陸地震の被災地への局地激甚災害指定に関する政令が決定されました。(首相官邸にて町村官房長官と)



13日、盛岡市内のホテルで自民党・公明党共同主催の集会、「危機を突破し、東北の未来を切り拓こう!」が開催され、東北選出の与党国会議員・各県及び市町村議員をはじめとする総勢約1500名の関係者が参加し、盛会のうちに幕を閉じました。集会では、岩手・宮城内陸地震の被災地の早急な復旧や異常な原油高への実効的施策の実施など、東北が抱える6つの危機を克服するため、与党が結束し戦略的政策ビジョンを構築し実施してゆく決意を確認しました。



岩手・宮城内陸地震により大きな被害を受けた栗原市の佐藤市長が総務省を訪れ、被災地への総務省職員の派遣や特別交付金等の措置に関し御礼を述べられました。増田総務大臣とともに、総務大臣政務官として、総務省による更なる措置の実施に向け、全力で取組んで参ります。



第58回 "社会を明るくする運動" 「社明フェスティバル・みやぎ」

7月1日(火)JR仙台駅ステンドグラス前にて、「社明フェスティバル・みやぎ」が行われました!"社会を明るくする運動"は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪のない明るい社会を築こうとする全国的な運動で、今年で58回目を迎えます。このキャンペーンには、歌手の佐藤宗幸さん、村井宮城県知事、梅原仙台市長をはじめ、多くの市民の皆様が足を止め、ご参加くださいました。会の最後には社明ソングみやぎ♪風になれますか♪を全員で



大合唱し一丸となったところで終了。今後も犯罪や非行のない安心・安全な宮城県を作るため、秋葉けんやはがんばります!!

秋葉けんやと語る会 ～ 国政報告会 ～

泉区

日時 8月22日(金) 19時～20時頃
場所 虹の丘コミュニティセンター(和室)
(泉区虹の丘1丁目9番4号)

宮城野区

日時 8月23日(土) 19時～20時頃
場所 上岡田公会堂
(宮城野区岡田字下高土手12)

若林区

日時 8月29日(金) 19時～20時頃
場所 大和コミュニティセンター(会議室)
(若林区大和町2丁目9番15号)

☆お近くの会場へお気軽にお越し下さい。

本当の"美味し国 伊達な旅"のために

8月といえば仙台七夕祭。毎年全国各地から200万人を超える観光客が訪れ、仙台の街は大賑わいです。旅先の印象というものは、美しい景色やおいしい食べ物等はもとより、どんな人と出会いどう対応してもらったかで随分違ってきます。特に従来型の観光のあり方が変化し、団体より個人、非日常性より日常性を求める傾向が高まる中、観光客を迎える側のちょっとした"おもてなしの心"が、その地をまた訪れたいと思わせる重要な要因となるのです。

むすび丸の大活躍で盛り上がりを見せている仙台・宮城デスティネーションキャンペーンもいよいよ10月から開催されます。幸いなことに宮城県は自然の景勝地にも恵まれ、昨年4月に刊行されたミシュランの外国人観光客向け日本ガイドでも高い評価を受けています。(松島★★★、塩竈★★★、仙台★、県内で★37コ獲得、全国6位)

この持ち前の優位性と、DCキャンペーンを通しての全国への積極的な情報発信により、今後より多くの観光客がみやぎを訪れることが期待されますが、これを一過性のもので終わらせないため、そして岩手・宮城内陸地震の震源地から離れているにも関わらず風評被害を受けた観光地に再び活気を取り戻すためにも、地域全体でお客様をもてなすホスピタリティ溢れる観光地づくりが求められます。

皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。



ひしひしよ話

「政治家って普段何してるの?」「選挙に行ったらなんか変わるの?」私が秘書になりたての頃、同級生の友人からこのような質問を受けました。

若者は政治に関心がない、投票に行かない、とよく言われますが、実は若者世代にも政治への潜在的な関心はあるのではないかと私は思うのです。世代別に見れば実際、高齢者の投票率は高く、政治家の側からすれば高齢者を対象とした政策を積極的に打ち出すという傾向にあるようにも思われます。とにかく世間で言われる通り、若者の政治離れ、政治家の若者離れというのが現状のようで、この両者の隔たりを近づけて行く努力が必要であると考えます。

秋葉けんや事務所では、毎週月曜日の街頭演説に加え、毎月の定期的な国政報告会や一般の方のご自宅をお借りしての茶話会などを通じ、より多くの皆さまからのご意見を伺うことに重点を置いております。今後はもっと若い方にも参加していただき、秋葉代議士を交えてさまざまな年代の皆さまとの「しゃべり場」を作っていければと考えております。

「選挙?今行ってきたよ!」こんな声が同世代からもどんどん聞こえてくるように、自分のまわりからでも少しずつ政治に関心を持ってもらえるような輪を拡げながら日々邁進して参ります!

猪又 隆広 (いのまた たかひろ)
(若林区担当)



秋葉 賢也 (あきば けんや) プロフィール

- 昭和37年7月3日宮城県生まれ、46才。
- 角田高校を経て、中央大学法学部卒業、東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了。
- 財松下政経塾卒塾(第9期生 宮城県初)を経て、宮城県議会議員(三期)を務める。
- 現在、総務大臣政務官、衆議院議員(二期目)。
- 著書:「地方議会における議員立法」(文芸社)、「東北の夢創造」(ぎょうせい)。
- 趣味:野球、空手などスポーツ、音楽、映画。

